

平成 30 年歩く会 秋の例会終了のご報告

実施日 平成 30 年 11 月 18 日 (日)

参加人員 11 名

日本橋蛸殻町の水天宮前に集合し水天宮参拝から歩く会は始まりました。
水天宮は七五三参りとお宮参りの人々で混みあっていましたが慶びの行事とあって参拝者の顔は皆満面の笑みでした。
佃のタワーマンション群を眺めながら清洲橋を渡り江東区に入ります。

清澄庭園は紀伊国屋文左衛門の屋敷跡を三菱の創始者である岩崎弥太郎が買い取り全国の名石を集めて造園、関東大震災後東半分を東京市に寄贈し東京市が清澄庭園として復旧し現在に至っています。
大泉水を中心とした庭園で散策には約 1 時間を要します。
我々は陽だまりの中ここで昼食をとり暫し休憩。
庭園を後にして 30 分程の距離にある門前仲町へ向かいます。

先ず成田山でお馴染みの成田山東京別院深川不動堂に立ち寄り護摩修行に立ち会います。
修行は 30 分程行われます。成田山は新勝寺が本山ですが桂昌院（5 代将軍徳川綱吉の生母）が不動様を江戸で参拝したいとの希望で元禄時代に成田山から江戸へ 2 か月ほど本尊を移し現在の地で江戸出開帳が行われたのが発端でその後明治になってから深川不動堂が建立されました。その後関東大震災と東京大空襲で 2 度焼失しますが本尊は焼けずに現在に至っています。
その後隣接する富岡八幡宮に向かいます。

江戸勸進相撲が最初に行われた場所で大関の碑、横綱の碑が建立されており懐かしい名横綱、名大関の名が彫られています。
またダイヤ、ルビーが埋め込まれた鳳凰、狛犬が配置された大神輿が安置されています。大神輿は展示のみで実際に繰り出すことはありません。

江戸の名残が残る下町を歩く行程でしたが天気に恵まれ風もなく穏やかな一日を送ることができました。間もなく下町は新年を迎える準備で一層の活気にみなぎるようになるでしょう。

歩く会 会長 松本 豊 (S41 年卒)



集合場所の水天宮前駅



水天宮に向かって歩く



水天宮神社に参拝です



清澄公園を抜けて清澄庭園に到着



庭園内で休憩と軽い昼食をとる



庭園から 30 分。深川不動尊に到着



深川不動尊で護摩修行を見る



富岡八幡宮は見物が一杯